

山口県立大学では今年も旬なテーマで

やまぐち桜の森カレッジ

開催！

Center
for
Cooperative
Community
Development

山口県立大学

生涯学習・リカレント教育情報

2006 **秋**

やまぐち桜の森カレッジ

特集号



やまぐち共生センター

山口県立大学附属地域共生センター

◆ねらい

このカレッジは、今私たちの身近に生じている見過ごせない問題や学習課題を取り上げて、それらの解決に役立つ専門的実践的講座として組み立てています。国際・文化、人づくり、地域づくり、健康づくりの4つのコースを設け、これらの分野を専門とする山口県立大学の講師陣と基礎・総合講座（全体講義）から専門講座（コース別ゼミナール形式学習）まで、体系的・専門的・実践的に学習を積むことにより、生活者、地域活動リーダー、職業人等としての資質を高めます。

◆対象

この講座に関心のある県民40名

◆日程





平成18年12月10日（日）～平成19年3月4日（日）

◆会場

山口県立大学 キャンパス内

◆プログラム

1. 基礎・総合講座【基礎的・総合的な学習内容を全体講義で学ぶ】

月 日	テ ー マ	講 師
	13:00 開 講 式	
12月10日（日）	13:10 人生、いつも輝いて生きよう ～年齢相応のライフ・スタイルを～ 人は老化に伴う身体の機能低下と精神的老化は必ずしも平行しないので、そのギャップに苦しみます。老化に伴う各臓器の機能の低下にマッチした心理を保つにはどのように対応したらよいかを考えます。	理事長・学長 江里 健輔 専門：外科学、心臓血管外科学 優しい医療、上手な医者へのかかり方、高齢者のライフ・スタイルなど癒しの医療に関する講演、及び多数の執筆活動中。 
13:00	14:30 楽しく受講するために（受講生の自己紹介・情報交換）	
16:30	15:10 子どもの社会性を育てるには ～アメリカと日本の比較研究をおして～ いま、子どもの社会性が育ちにくいと言われています。アメリカで生まれ、日本で子育てをしている講師が、日米の子どもの価値観形成に関する研究を通して、現状を分析し、解決方法を具体的に述べます。	国際文化学部 助教授 エイミー・ウイルソン 1966年 ニューヨーク生まれ。 1988年 ALTとして来日、 1994年以来山口県立大学国際文化学部勤務する。 専門：英語、異文化コミュニケーション。 
12月17日（日）	13:00 くらしと文学 ～やまぐちの文学散歩をしながら～ 生活の中で文学はどのような役割と意味を持つのでしょうか。歴史と風土、方言も含めて、中原中也・種田山頭火の作品、その他実作の面白さについて語ります。	中原中也記念館 館長 山口県立大学 名誉教授 福田百合子 専門：国文学 地域に伝わる古文書と近代文学の接点を探り、創作も手掛ける。 
13:00	14:20 14:30 食事（食べごと）を考える ～食の安全・食育の視点から～ 我が国では、過去の食糧難の時代から、いま飽食の時代を迎えて「食は命の根源である」ことが忘れられがちです。ここで、あらためて、食べごと、食糧事情から食の安全・食育について総合的に考えます。	やまぐち食と緑の県民フォーラム 会長 元山口県立大学 教授 神武 正信 1940年(S15)年生まれ。乳業会社に34年間勤務後、山口県立大学生活科学部栄養学科にて食品学を教える。定年退職後（3年前）ボランティア（県民フォーラム他）に従事。 
	15:50 ゼミ・コース別オリエンテーション	
	16:30	

2. 専門講座【4つのコースに分かれて、コース別に指導者を中心に進めるゼミナール方式の学習】

1月～2月

テーマ 田村洋と共に歌おう！

国民文化祭で山口県は今、熱くなっています。その実行委員長を務める講師と共に、講師自作の作品も含め鑑賞したり、一緒に歌ったり、人生を彩る「音楽の楽しさ」を味わいましょう。
(国際・文化コース)

国際文化学部 教授

田村 洋
作曲家 山口県民歌「みんなのふるさと」・NHK朝の連続テレビ小説の音楽、他多数の作曲があり、作品は国内外で演奏されています。



土・日を中心に午前または午後(3時間)を計5回(計15時間程度)※

**テーマ 人間関係力をアップしよう
～心理劇(サイコドラマ)をとおして**

子どもを取り巻く問題が多発している今日、親子・家族・教師と児童・生徒、その他、様々な場面での人間関係づくりがますます大切になっています。いろいろな役を演じて体験を共有する心理劇の、理論から実際までを体験しながら学び、あなたの人間関係力をアップしましょう。
(人づくりコース)

看護学部 教授

廣瀬 春次
専門：カウンセリング・家族心理学
人の心身の健康支援を主な仕事にしています。現在、様々なケースへの臨床心理学的アプローチを模索しています。



**テーマ 地域づくりのヒントを見つけよう
～地球温暖化現象と食糧問題を理解して～**

地球温暖化現象と、私たちの暮らしに与える様々な影響について学びます。さらに食糧としてのコメを取り上げ、実験や実習(炊飯試食・餅つき等)をしながら、地域づくりと食糧問題にどう向かい合えば良いのか、考えます。
(地域づくりコース)

生活科学部生活環境学科 教授

小川 雅広
専門：食糧科学・食糧安全性学
研究：稲の新品種育成、コメタンパク質に関する品種改良
農学博士 趣味：剣道



**テーマ 健康のためのカラダづくりを科学しよう
～効果的な運動についての理論と実践～**

身近な健康のためのカラダづくりは、筋肉を増やし脂肪を減らすことです。実際に、まずあなたの筋力・筋量・脂肪量などカラダの状態を調べて、その後運動によってどのように変化するかを体験し、あなたにとって効果的な運動を開発実践しましょう。
(健康づくりコース)

看護学部 教授

眞竹 昭宏
専門：体力科学・人間工学
幼児から高齢者まで、ライフステージ毎の体力を科学的に研究しています。日本幼少児健康教育学会常任理事、山口県体育学会理事、工学博士



3月4日(日)	10:00	11:30	13:00	15:50	16:00
10:00～16:00	ゼミ研究発表会	昼食 休憩	交流学習会 (過年度の受講生と共に交流学習会を行う) (プログラムの詳細は後日お示しします)	閉講式	

※ゼミナールの詳しい日程は、12月17日(日)の「ゼミ・コース別オリエンテーション」で、受講生と指導者の話し合いで、決定していただきます。

◆受講方法

- ①全体受講を原則とします。やむを得ない場合、基礎・総合講座についてのみ、部分受講を認めています。
- ②受講料 3,000 円（資料代を含む）（部分受講者は、資料代として1,000 円のみいただきます。）

◆申込方法

下記の受講申込書に必要事項を記入して、山口県立大学附属地域共生センターへお申し込み下さい。
11月30日（木）までに郵送、またはFAXで申し込んで下さい。

なお、締め切り時点で定員に達しない場合は、先着順にて定員に達するまで受け付けます。

◆主 催 山口県立大学・やまぐち桜の森カレッジ実行委員会

----- 受 講 申 込 書 -----

平成18年度「やまぐち桜の森カレッジ」受講申込書

平成18年 月 日

所 属 等 (あれば記入してください)		
氏 名		
住 所		〒 (-)
電 話		電話 (- -) FAX (- -)
受講方法 (どちらかに○)		ゼミの希望コースに第1から第4まで順番をご記入ください
	() 全体受講	国際・文化コース 第 () 希 望

		人づくりコース 第 () 希 望

	地域づくりコース 第 () 希 望	

	健康づくりコース 第 () 希 望	
	() 部分受講	

※受講通知については、12月初旬にお知らせします。

※受講料等は、当日会場にて受け付けます。

[申し込み・お問い合わせ先]

山口県立大学附属地域共生センター

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

TEL : 083-928-3495 FAX : 083-928-3495

山口県立大学生涯学習ボランティアを募集します

今まで、受講生として公開講座やサテライトカレッジなどにご参加いただいた方々や、これから受講してみたいと関心をお持ちのみなさんを対象に、山口県立大学が実施する講座のサポートなどを担当していただく「山口県立大学生涯学習ボランティア」を募集することになりました。

あなたに関心をもっておられる受講してみたい講座で、無理なく、あなたのボランティアの力を発揮していただき、県民のみなさんに求められる講座ができることを期待しています。

生涯学習ボランティアになるには

- ◆応募方法 平成18年10月1日～平成19年3月31日
下の申込書に記入の上、郵送またはFAXで申し込みをしてください。
- ◆研修 平成19年5月上旬に研修と情報交換をします。
- ◆研修終了後、ご希望の講座で生涯学習ボランティアとして活動していただきます。

生涯学習ボランティア活動の内容

- ①あなたのお知恵を貸してください
講座の企画にアイデアを提供していただき、県民に求められる講座を一緒につくりませんか。
- ②あなたのおもてなし力を貸してください
講座開催日の受付や講座に参加される方のサポートなど、共生センターのスタッフと共に活動してみませんか。
- ③あなたのコミュニケーション力を貸してください
講座当日の講師の紹介や司会などをお願いします。また、講座のPRなどについては、あなたが参加された講座の良さ等を「クチコミ」で広げてください。

生涯学習ボランティアのメリット

- ・ボランティア活動に参加される際に必要な「ボランティア保険」にはこちらで加入します。
- ・ボランティアを担当される講座の受講については、受講料を減免するなど特典を設けます。
- ・山口県立大学附属地域共生センターや山口県立大学内の情報をスピーディに提供します。
- ・学内教員との交流が深まり、地域活動等に生かされます。

生-涯-学-習-ボ-ラ-ン-テ-ィ-ア-申-込-書

所 属 等 (あれば記入してください)	
氏 名	
住 所	〒 (-)
電 話	電話 (- -) FAX (- -)

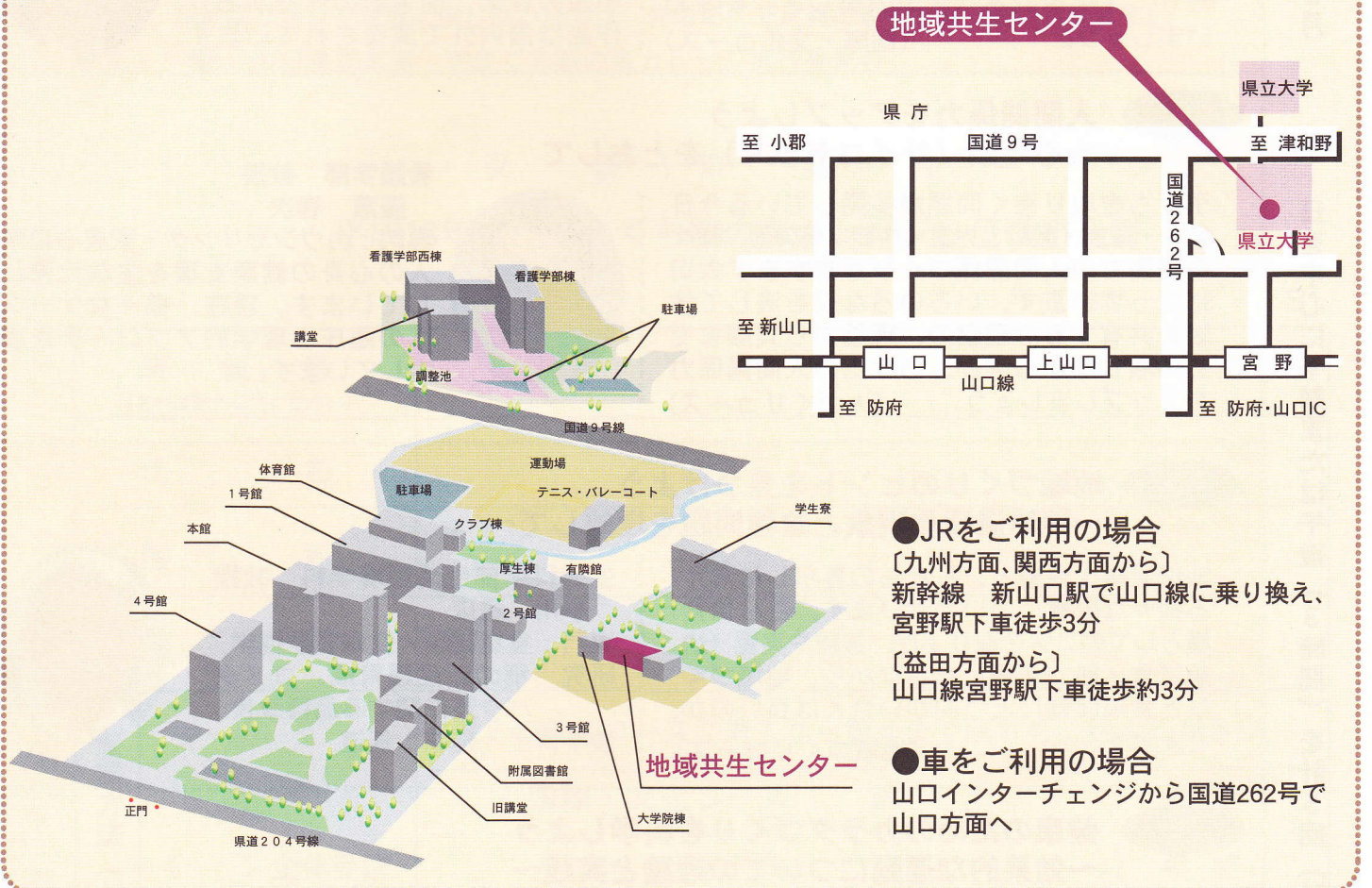
[申し込み/お問い合わせ先] 山口県立大学附属地域共生センター

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1 TEL・FAX :083-928-3495

山口県立大学は あなたの学びづくりのパートナーです

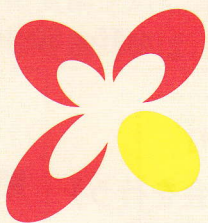
あなたご自身や職場、そしてグループ・団体等の学習や研修活動など、生涯学習に関するご相談・お問い合わせは、地域共生センター生涯学習部門へお気軽にどうぞ！

山口県立大学・地域共生センター位置図



ご相談・お問い合わせ先

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門



〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

TEL : 083-928-3495

FAX : 083-928-3495

<http://www.ypu.jp/cccd>

E-mail : manabi@yamaguchi-pu.ac.jp

窓口担当

岡本早智子
船崎美智子
久村紀恵